

ARB	各病院コメント
三次中央	引き続き、アジルサルタン20mgとオルメサルタン20mgがほぼ同量でトップでした。テルミサルタン40mgが微増していました。
三次地区医療センター	オルメサルタンの使用量が約1/4に減少し推奨薬の比率が低下しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	オルメサルタンの使用量が前月よりも減ってはいたものの、アジルサルタンの使用量は年間で一番多く使用されていて全体では使用量に変化なし。(稼働日が2月よりも多いため)
PPI, P-CAB	各病院コメント
三次中央	引き続き、ランソプラゾール15mgが断トツでトップでした。その他の薬剤は全て横ばいでした。
三次地区医療センター	推奨薬の総数は前月とほぼ変わりないですが、ピロプラザンが減少したため推奨薬の比率はやや上昇しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	エソメプラゾールの使用量は直近3ヶ月で若干減少しているもののランソプラゾール及びラベプラゾールは前月よりも若干ではあるが増加となっている
スタチン	各病院コメント
三次中央	ロスバスタチン2.5mgが上昇傾向にあり、アトルバスタチン10mgとほぼ同量でした。
三次地区医療センター	ロスバスタチン・アトルバスタチンが増加、プラバスタチンが半減し推奨薬の比率は上昇しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	使用量は年間を通して多い月となっている
$\alpha$ -GI	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	ボグリボース、ミグリトールともに減少しています。特にミグリトールは処方例が少なくなっています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	ボグリボース及びミグリトールはいずれも使用量が多く増加に転じている
抗ヒ薬	各病院コメント
三次中央	季節性もありフェキソフェナジンDS・錠の処方量が上昇していました。
三次地区医療センター	フェキソフェナジン増加、オロパタジン・レボセチリジンは減少、オプション薬であるピラスチンが大きく増加しています。ピラスチンは大半が外来処方です。
庄原赤十字病院	時期的要素もあり、先月よりも処方数が増加していた
西城市民病院	オロパタジンの使用量は減少しているもののフェキソフェナジン及びレボセチリジンの使用量は年間を通して3月は多く使用されている。(対象患者が多かったためと思われる)
消炎鎮痛薬	各病院コメント
三次中央	アセトアミノフェン細粒は昨年11月ごろより急増しています。
三次地区医療センター	先月と比較し大きな変動はありませんでした。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	全体を通じて使用量は多くはないが、アセトアミノフェン500mgの使用量は増加している
歯口腔術後抗菌薬	各病院コメント
三次中央	当院ではアモキシシリン(推奨薬)とクラリスロマイシン(オプション薬)の処方量は3:1の割合です。
三次地区医療センター	該当処方なし
庄原赤十字病院	対象薬剤の採用がない
西城市民病院	使用なし(オプション薬のクラリスロマイシン200mg(錠)の使用量は多かった(130錠/月))
ビスホスネート製剤	各病院コメント
三次中央	当院ではリセドロン酸(推奨薬)とミノドロン酸(オプション薬)の処方量は1:4の割合です。
三次地区医療センター	アレンドロン、ミノドロンともに半減です。対象患者が減少しています。
庄原赤十字病院	対象薬剤の採用がない
西城市民病院	使用量に変化なし

備北地区・地域フォーミュラリ薬剤 数量集計での各病院コメント

令和 8 年 3月分(2)

ヘルバス薬	各病院コメント
三次中央	引き続き、全体的に減少していました。
三次地区医療センター	処方なし
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	推奨薬の使用なし(オプション薬のファムシクロビル250mg(錠)が50錠使用されている)
Ca拮抗薬	各病院コメント
三次中央	引き続き、1位はアムロジピン5mg、2位はニフェジピン20mgでした。
三次地区医療センター	ベニジピンのみやや増加しましたが、全体的に使用量が減少しています。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	いずれも若干使用量が増えている。 (オプション薬のアゼルニジピン16mg(錠)は使用量が若干多かった)
グリニド系糖尿病薬	各病院コメント
三次中央	断トツ1位はレパグリニド0.25mgでした。 オプション薬(ミチグリニド10mg)と比べると10倍以上差があります。
三次地区医療センター	先月よりも減少。 件数が少なく月変動が大きいです。長期的には減少傾向にあります。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	推奨薬使用なし。(オプション薬ミオチグリニドの使用量に変化なし)
多価不飽和脂肪酸製剤	各病院コメント
三次中央	全体的に横ばいでした。
三次地区医療センター	先月と比較し大きな変動はありません。処方例が少なく傾向は不明です。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	使用量に変化なし
尿酸生成抑制薬	各病院コメント
三次中央	フェブキソスタット10mg・20mgが上位を占めていました。
三次地区医療センター	アロプリノール、フェブキソスタットとも増加。 特にアロプリノールは大きく増加していました。
庄原赤十字病院	現在は安定的に処方されている
西城市民病院	使用量に変化なし